



駿河台大学 同窓会

SURUGADAI UNIVERSITY ALUMNI ASSOCIATION

駿河台大学同窓会報

第19号

発行

駿河台大学同窓会事務局

〒357-8555

埼玉県飯能市阿須698

☎042-972-1101

駿河台大学同窓会ホームページ <http://www.surugadai.ac.jp/dousou/index.html>



平成21年度ホームカミングデー懇親会

板東英二氏プロフィール

1940年4月5日旧満州国生まれ。徳島県板野郡板東町(現鳴門市)育ち。徳島商業高校在学中の甲子園準々決勝、対魚津高校戦延長18回引き分け、翌日再試合の村椿投手との投げ合いは球史に残る激闘。この大会で記録した83奪三振は現在も高校野球の一大会における通算奪三振の最多記録。卒業後、中日ドラゴンズに入団。投手として11年間活躍。現役引退後は、野球解説者、野球評論家、タレント、司会者、俳優など幅広い分野で活躍されています。



◆ホームカミングデー講演会

板東英二氏による講演会「板東英二のがむしゃら人生」を開催します。皆様のご来場をお待ちしております。

時間 13時～

場所 第二講義棟 7405教室

会費 無料(先着順・申込不要)

◆ホームカミングデー懇親会

大学会館(食堂)4階武城さんが心を込めて作ってくださった軽食とお飲み物をご用意してお待ちしております。学生時代の懐かしい味を是非ご堪能ください。

時間 15時～16時30分

場所 第二講義棟15階レセプションルーム

会費 無料

※当日は、飯能・元加治・金子駅から無料スクールバスを循環運行しておりますのでご利用ください。お車でご来場の場合、駐車台数に限りがあり、大学近辺の駐車場をご案内する場合がありますので、予めご了承ください。

第24回 駿輝祭開催のご案内

10月23日(土)・10月24日(日)飯能キャンパスにて

ホームカミングデーは、駿輝祭初日10月23日(土)に開催します。卒業生のみならず、お父様・お母様にもお気軽に母校にお集まりください。

今年で9回目を迎えるホームカミングデーをご存知でしょうか。毎年、駿輝祭開催に併せて、同窓会が企画している卒業生のための会です。今年は10月23日(土)に講演会と懇親会を開催します。

毎年、多くの卒業生と教職員が一同に集い、にぎやかで楽しいひと時を母校で過ごしていただいております。また、現在の大学の様子や、現役学生のがんばっている姿をご覧いただき、駿河台大学と同窓会とのつながりが更に強くなれば、今後の大学の発展にも寄与できるものと考えております。

恒例となりました同窓会・父母会共催の講演会では、元プロ野球選手・野球解説者・俳優・タレント等、幅広く活躍されている板東英二氏をお招きする予定です。その後、会員の皆様にお集まりいただき、懇親会を行う予定です。大学時代のお友だちと連絡を取り合って、是非お越しください。もちろん、ご家族同伴の参加も大歓迎です。

「原人」とさっき書いたけれど、僕は大学の設立準備委員として創立2年前から加わっていたのです。準備室長だった創立者の山崎春之氏も今年1月にお亡くなりになって、遂に僕だけになってしまいました。そろそろ部屋を明け渡す準備を始めなければと思いつつ本やビデオなど処分しているのですが、先日「駿河台大学紹介」と書いてあるビデオが出てきました。見てみたら、始まる2カ月前のキャンパスが写っていて、僕が、アナウンサーの質問に答えて、どんな大学にしたい

こんにちは、「駿大の原人」吉田邦久です。皆さんは「生命科学」とか「女と男」などの授業を受けたかと思います。そう、「酒は無理に飲んでも強くなる。遺伝子で決まっているから」とか「女は原型、男は変型、だからmanは女、womanは男でなければ」など覚えているでしょうか。まだ同じことやっていたのかって? 失礼な。もちろん新しいことも加えてきましたよ。でも、遂に僕の授業も今年が最後です。そう、今年で70歳になり、定年ですから。「70歳」って言うと、自分でもすごいなあと思います。だって、僕が大学生だった頃、定年問近(60歳近く)の先生はずいぶん寄りに見えたから。だから、僕など、今の大学生から見ると「生きている化石」に見えるのでしょうか。そうシラカンスだ。

現代文化学部 教授 吉田 邦久

皆さんのふるさと駿大は元気です。

帰ってこいよ!!



「国際化・情報化に対応」って事あることに言ってみましたけど、それはほぼ実現しましたしね。だって、キャンパスにはいろんな国籍の留学生がいるし、どんな学生が海外に出ていってますよ。「メディア工房」という先端的な実習室もあるし。スポーツでもすごいですよ。北京五輪にはカヌーの矢澤一輝君が出たし、バンクーバーパラリンピックではスキーで鈴木猛史君が銅メダル、アイススレッジホッケーで卒業生の遠藤隆行主将が銀メダルですよ。それに、ホッケーは男女とも関東リーグの第1部だし、剣道も頑張っている。そろそろ駅伝に力を入れようかと言っているところ。新スポーツ学生寮も今建設中ですよ。今年のホームカミングデー、僕は現役最後になりますが、皆さんに会いたい! 是非「ふるさと」に来てね!

か、学生に何を望むかなど、話していました。「若い!」と自分でも思いました。何しろ黒髪ふさふさでしたから。「チャレンジする大学だ、だから学生もチャレンジして」と言っていました。

そう、あれから25年。「そこで笑っている奥様も綺麗だったんですよ、面影無いですよ」と綾小路きみまろなら言うでしょうけど、僕自身はたしかにその通り。でも、駿河台大学は益々発展して、「大学らしい大学」に変貌しましたよ。そのビデオでも、「将来は文科系総合大学に」とありましたが、その通りになりました。法学部から始まって、今は、法、経済、メディア情報現代文化、心理の5学部ですからね。

開学当時(1987年)の吉田邦久先生



平成22年度 同窓会総会・懇親会を開催しました



富岡勇哉氏(平成4年法学部卒)から開会のご挨拶をいただきました。

5月29日(土)、平成22年度同窓会総会が開催されました。

今年も昨年と同じく京王プラザホテル(新宿区西新宿)での開催となりました。

総会に先立ち、14時から役員会が開催され、同窓会の事業計画や、大学・在学生への支援について、委員の方々から様々なご意見・ご提案をいただきました。

15時30分からの同窓会総会は、47階あけぼので行われました。

議事に入る前に、同窓会名誉顧問の成田憲彦学長、同窓会会長の



成田憲彦学長からのご挨拶

駿河台大学創立者で初代理事長・総長の山崎春之名誉総長が、1月13日に肺癌のため、お亡くなりになりました。3月29日に青山葬儀場でお別れの会を、その後、駿河台学園・予備学校および専門学校、駿河台大学でも偲ぶ会が行われ、山崎春之先生のご功績を改めて讃えますとともに、ご冥福を心からお祈り申し上げます。

本学の状況について、まずスポーツの面についてご報告を申し上げます。本学メディア情報学部の鈴木猛史君が、バンクーバー・パラリンピックのチェアスキー大回転で銅メダルを獲得して、本人も大変感激しております。日本でも非常に大きく報道されました。鈴木君に対して、同窓会からも多大なご支援を頂戴しまして、この場をお借りして、厚く御礼申し上げます。

また、このバンクーバー・パラリンピックで日本選手団の旗手を務められ、アイススレッジホッケーのチェアで銀メダルを獲得しました遠藤隆行さんは、この同窓会のメンバーです。非常にスピードの速いシニョートを打つ「世界最速の男」ということで、テレビでも紹介されて、さらに注目を集めました。

今年4月の入学式には、この遠藤隆行さんに来賓としてお越しいただき、新入生に励ましの言葉を頂戴しました。また、在学生の歓迎の辞は、先程の鈴木猛史君が、それから新入生の誓いの言葉は女子カヌースラローム日本選手権で優勝しました矢澤亜季さん(お兄さんの矢澤一輝君が本学在学生で北京オリンピックに出場しました)が務め、全てスポーツ関係の人になりました。

その他の各運動部も非常に活躍しております。今年度創設しましたハンドボール部は、7部からのスタートでしたが、破竹の勢いで全勝して、来年は6部昇格ということです。さらに来年から駅伝部を創設するということが決定しました。何年か後には駿河台大学の襷をかけた選手達が箱根にチャレンジする場面を皆さんに見ていただけるようにしたいと思っております。更にスポーツ振興の一環として、スポーツ寮の建設を決定したところで、120人収容できる男子寮を7月中旬に着工し、来年の1月下旬に竣工、来年4月入寮を目指しているという状況です。

次に大学全体ですが、昨年度から5学部体制が発足し、現在のところ学生募集も順調で、むしろ新設改組学部では志望者が多くオーバーしているという状況です。

今、実人数で4300人程度のキャンパスですが、将来的には実人数で5千人程度のキャンパスを実現するように、新設・改組を検討して駿河台大学の進化を図っていきたくと思っています。これに伴いまして、色々な施設関係の建設もしております。キャンパスにいらしたときには、中をぐるぐるご覧いただく色々な意味で施設・設備共に強化しているということがご覧いただけるのではないかと思います。

就職に関しては、卒業年の景気動向によって、運不運があるのは残念ながらやむを得ないことですが、大学としても就職の支援に力を入れて、教育の中に、キャリア育成科目や自己発見の科目を強化しまして、学生の就職を支援しております。それから、大学としてどういう学生を育てていくのかということも明確にしたいと思っております。

最初申し上げました創立者の山崎春之名誉総長の教育理念として、教師と学生の人格的な結びつきによる「愛情教育」という理念がございます。今、私のもとで委員会を作りまして、「未来をつかむ人間力」を身につけた学生を育てる教育を検討しているところであります。

最後になりますが、来年はいよいよ開学25周年になります。四半世紀ということですから、山崎善久理事長を委員長に25周年記念事業準備委員会を設置し、記念事業の検討を始めたところであります。

同窓会もそろそろ2万人近くの会員数になりますので、25周年に歩調を合わせた事業なども計画していたければありがたいと思っております。以上、駿河台大学の現在の状況につきまして、ご報告させていただきます。

現役の学生達に力を与える意味でも、卒業生の皆さん達がそれぞれの分野で活躍をして、在校生に勇気を与えていただきたいと願っている次第でございます。



富岡勇哉同窓会長からのご挨拶

本日は天候が悪い中、皆様お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。先ほど学長から非常に丁寧に大学の活動をご伝達いただきました。駿河台大学もがんばっているのが改めて認識できた次第です。

また、今年の春、4月29日に叙勲で現総長の竹下先生が瑞宝重光章を受章なされて、駿河台大学の名前が認知されつつあるのかなと考えております。

私も同窓会の目的は、学長からお話しがございましたとおり、在校生を支援するということと共に、もう一点は同窓会会員同士の連絡ツール・横のつながりとしての役目が重要であると考えております。北海道の方で支部会の開催が動きつつあるというお話をこの総会の前に立ち話でしたが伺いました。それに限らず、皆様、職域などでもかまいませんし、大学の同窓会が始まりましてそろそろ20年近くになります。同窓会設立当初の理念だった卒業生同士が連携をとりながら、皆様が使えようとするような組織を目指していきたくと考えております。

政府の方では大変混迷を極める状況になりつつありますが、こういう中で信じられるのはやはり皆様ご本人、あるいは信頼のおける仲間ということになるかと思っております。そのスキームの中に駿河台大学と同窓会が入れば大変喜ばしいことだと思いますし、お互いに欠けている部分を、あるいは困っている部分を連携していきたくということがもとの目的でございます。それで、何卒皆様にもご協力をいただいで、これからも大学及び皆様のためにも、この駿河台大学を盛り立てていきたくと考えております。

学長のご挨拶の中にも開学25周年というお話がございました。今後私ども同窓会役員も大学と連携をとりつつ進めてまいりたいと思っております。何卒、ご列席されている皆様にもご協力いただきたいと考えております。

総会の司会進行は、同窓会役員の廣瀬尚氏(平成5年法学部卒)が行い、次の議題について審議されました。

- 1. 平成22年度同窓会総会議事
- 2. 平成21年度事業報告及び収支決算報告について
- 3. 平成22年度事業計画及び収支予算案について
- 4. 平成22年度役員について

※総会で配付した資料は、同窓会ホームページにも掲載しております。

議題1については、平成19年度卒業生からの大学への卒業寄付を平成20年度卒業生と併せて行った旨、報告されました(4ページをご参照ください)。

議題2については、新井会計監査委員(平成12年文化情報学部卒)より、5月8日(土)に行われた同窓会会計監査の結果が適正である旨、報告がございました。

議題3については、雷幹事(学生支援部部長)より平成22年度の事業計画案について説明がなされ、北海道支部会設立の動きがあり同窓会としても協力したいこと、パラリンピックチェアスキーに出場した鈴木猛史君に対し引き続き援助を行うこと、平成21年度予算で予定していた国債の購入は利率低下により見送ったこと等、説明が加えられました。

続いて、渡部会計委員(平成9年法学部卒)より平成22年度収支予算案について説明がなされ、平成22年度事業計画及び収支予算案共に、審議の結果、承認されました。

平成21年度卒業生からの大学への卒業寄付については、一点はアカペラサークルacdの活躍を評価してスピーカーセットを、もう一点は駿輝祭で使用するテントを提案し、了承されました。

議題4について平成22年度役員について紹介があり、承認されました(3ページをご参照ください)。

総会終了後の16時30分より、4階花に会場を移し、懇親パーティーが開催されました。矢吹和也氏(平成19年文化情報学部卒)の司会進行、副会長桐生岳氏(平成5年法学部卒)の乾杯のご発声で開会となりました。



アカペラサークルacdの学生



懇親会の余興では、アカペラサークルacdの現役学生11名が「ものけ姫」などジャズプリメドレーを熱唱しました。また、中盤では、同窓会恒例となりましたビデオを上映しました。



最後に、中島会計委員(平成7年法学部卒)の音頭で、恒例の校歌斉唱をしてお開きとなりました。

会場を都内に移し、会員の皆様と教職員や在学生が懇親する機会が持て、さらに同窓生と大学とのつながりも強くなったのではないのでしょうか。ご参加いただいた皆様、どうもありがとうございました。(同窓会事務局)

作家デビューを果たした法学部卒業生 高橋太氏をインタビューしました

平成27年3月

たかはし たいし



「新・本格推理」(光文社)掲載を経て、『ものけ本所深川事件帖 オサキ江戸へ』(宝島社文庫)で『このミステリーがすごい!』大賞隠し玉として今年5月にデビューした高橋由太氏(本名高橋太氏)取材しました。
(2010年8月17日 火宝島社本社(東京都千代田区)にて)

― 学生時代の思い出について ―
学生時代の思い出は、弁論部の活動、一人暮らし、アルバイト、それから、図書館の空気が好きでよく通っていたことを思い出します。当時、駿河台大学ではできたばかりの新しい大学で、先輩も少なく楽しく過ごせ、楽しい学生生活でした。

― 作家を目指したきっかけは? ―
実は具体的なきっかけはありません。初めての短編を書いて応募したら取り上げられました。その後、パソコンを購入したのがきっかけになっています。インターネットか文章を書くことくらいしか使わなかったのです。妖怪ものを書き始めたのは、曾祖母や祖母の影響ですかね。子供の頃に聞いた話「東京で火事があって焼け出された経験や戦時中の話」は妖怪よりもリアリティーがあったし、戦死した子供や行方不明になった子供が「帰ってきて、あそこに座っている」と言われると、家族として自然に受け入れてしまいますから。人の世界にそぐわないものが混ざっているのは不思議な感じはしませんでした。

― 『このミステリーがすごい!』大賞に応募したきっかけは? ―
宝島社さんが良いと思ったのは、担当の編集さんが女性で話がかみあって聞いていると聞いていたからです。僕は無理だったら早めに「辞める」とはっきり言ってくれる人の方が良かったので。
読者に女性が多いと聞いていたので、男性と女性はずごく感覚が違うので、編集さんからのアドバイスは有難かったですね。原稿段階でいくらか突っ込まれてもいますが、活字になってから突っ込まれるとキツイです。

― 『このミステリーがすごい!』大賞隠し玉を受賞したときのお気持ちは? ―
初めにお電話をいただいたのが、一次に通った時で、

他社の方に比べてすごく親身な感じでした。その後最終選考で落ちた時も、もうすごく親身な感じでお電話をいただいた。大賞云々というよりも、人間関係の方が大切だと思ったので、不満はなかったです。あえて言うなら賞金がなかったことくらいですかね(笑)。

― 今後執筆したい分野は? ―

この先、二作目・三作目と続けて書いていきたい気持ちは強いですが、ジャンルなども良く聞かれますが、どんなジャンルでも書いてうちに自分の文章になってしまっています。特にこれといったジャンルはないですね。基本的にキヤクター小説を書きたいです。今回『オサキ江戸へ』を書くにあたって江戸を勉強したら面白いと思えたので、時代設定は江戸を書きたいなと思っています。

― 後輩へのメッセージをお願いします ―

ある程度の位置にいくまでは、自分の力を信じてがんばってほしいです。社会は厳しいですが、自分の力を信じて頑張っていけば、周りに応援してくれる人はたくさんいますから。

― 自分ももっと頑張らなくてはいけないですね。現在、第二弾が10月に発売される予定です。古き良き時代、読んでほっとするような作品に仕上がっていると思いますので、皆さんにも是非読んでいただければ嬉しいです。 (聞き手 同窓会事務局・総合企画課)

読者プレゼント



駿河台大学NEWS 同窓会報をご覧いただいた方(5名様)に、高橋由太氏サイン入りの『ものけ本所深川事件帖 オサキ江戸へ』をプレゼントいたします。

応募方法 ご希望の方は、次の内容を記入の上、

〒103-8501 東京都千代田区千代田1-1-1 駿河台大学同窓会事務局(学生課内) へ、プレゼントの発送をもって発表に代えさせていただきます。(11月上旬予定)。

- ① 学籍番号・氏名
- ② 郵便番号・住所・電話番号
- ③ この記事を読んだ感想など

応募締切 10月25日(消印有効) 応募先 たかぎ 〒103-8501 埼玉県飯能市阿須の6000 駿河台大学同窓会事務局(学生課内)

★ E-mail doujou@sunugadai.ac.jp たくさんの応募をお待ちしております!!

駿河台大学では エコキャップ運動

をすすめています。



2009年度より、当時4年生の学生により設立されたボランティアサークル・エコキャップが中心となり、エコキャップ運動をしています。ご存知の方も多いためですが、エコキャップ運動とは、ペットボトルのキャップを集めて世界の子どもたちにワクチンを届ける活動です。

ゼロからのスタートで、学内への呼びかけの掲示を作成し、ゴミ箱の近くにキャップ回収用の箱を設置していくことから活動は始まりました。学内の意識が徐々に高まるにつれて、多くのキャップが回収されるようになり、2010年7月までに累計で148,720個のキャップを回収・洗浄し、回収業者に送りました。



設立時には9名だったメンバー数が、2010年度には44名となり活動も盛んになってきました。

学内での活動だけでなく、小学校に出向いてペットボトルキャップを利用した工作物を作る交流をしたり、地域の社会福祉協議会のお祭りに参加したり、活動の幅を広げています。

● キャップ代表 法学部4年 北島真希君 設立時からe・キャップのメンバーとして活動してきて、今では後輩もできましたし、とても頼もしく感じています。駿輝祭のときもキャップ回収をするスペースを設けることになっていたので、卒業生の皆さんにもキャップを持ってきていただくと嬉しいです。

平成22年度同窓会役員のご紹介

役職	氏名	卒業年	学部
会長	富岡 勇哉	平成24年卒	法学部
副会長	桐生 岳	平成25年卒	法学部
会 計	森沢 克啓	平成29年卒	法学部
監 査	中島 俊夫	平成27年卒	法学部
委員	渡部 成人	平成29年卒	法学部
	長嶋 亮吉	平成27年卒	経済学部
	新井 克明	平成12年卒	文化情報学部
	廣瀬 尚	平成5年卒	法学部
	北島 健太郎	平成6年卒	法学部
	市川 紀子	平成7年卒	法学部
	飯塚 小穂子	平成13年卒	文化情報学部
	三枝 桂子	平成18年卒	現代文化学部
岡部	浩一	平成20年卒	経済学部

本学在学生の兄弟姉妹および 本学卒業生の子または兄弟姉妹に対する 入学免除制度について

駿河台大学では、平成21年度入学者より本学在学生の兄弟姉妹および本学卒業生の子または兄弟姉妹が本学の各学部に入学者の場合、入学金を免除する制度を設けています。

1. 対象者 本学在学生の兄弟姉妹及び本学卒業生の子又は兄弟姉妹
 2. 免除額 入学金26万円
 3. 手続方法 通常の入学手続きをしていただき、4月の入学後、5月末日までに所定の申請書によって入学金を免除を申請してください(申請窓口 本学財務課)。入学者と本学在学生・卒業生との親子関係又は兄弟姉妹関係が確認できる書類(左記参照)と振込先の口座番号が確認できる預金通帳の写しが必要です。
- * 親子・兄弟姉妹関係の確認書類
- (1) 扶養家族としての記載により健康保険証で確認できる場合: 健康保険証の写し
 - (2) 扶養家族ではないが同居している世帯主が親又は兄弟姉妹である場合: 世帯主との続柄が記載された住民票
 - (3) 健康保険証でも住民票でも確認できない場合: 戸籍謄本
4. 免除方法 入学金の免除について決定後、本人に通知の上、6月下旬頃入学金26万円を返金します(指定口座に振込み)。
 5. お問い合わせ先 入試広報課 ☎ 042・972・1124

同窓会事務局より

同窓会北海道支部設立準備を進めています

駿河台大学も来年で開学25周年を迎えます。卒業生も年々増え、同窓会会員も約2万人規模と増加しております。

この度、上見国敏氏（平成7年経済学部卒）を発起人として、北海道在住の会員同士の親睦を深め、今後も連携していけるように、同窓会北海道支部を立ち上げる予定で準備を進めています。

現在、同窓会にご登録いただいているご住所が北海道の会員の方に、同窓会北海道支部設立に向けたご案内を送付しておりますので、趣旨にご賛同いただける方は、ご連絡ください。

〈連絡先〉

上見国敏（平成7年経済学部卒）
TEL 0154-24-3881
平日 午前10時～午後5時まで
土曜日 午前10時～正午まで
FAX 0154-24-3881-0
E-mail umi.kunitosh@brown.plala.or.jp

将来的には、道内で同窓会北海道支部会を開催できればと企画しておりますので、一人でも多くの方にご賛同いただけると幸いです。

なお、北海道支部に限らず、同窓会支部を立ち上げたいという方がいらっしゃいましたら、同窓会事務局までご連絡ください。

硬式庭球部のOB会を開催しました



7月3日(出)に、硬式庭球部のOB会が開催されました。当日は、13時30分から駿河台大学テニスコートで現役学生とOBでテニスの腕を競い合い、18時30分からは会場を池袋に移して懇親会を行いました。

幹事の大平一貴氏平成7年経済学部等のコメント

大学時代硬式庭球部に所属しておりました。現在、129名のOBと現役学生がおります。そのうち、約40名が集まりOB会を開催いたしました。



久しぶりに顔を合わせ、大学時代の思い出や、お互いの近況を話したりしながら、楽しく有意義な時間を過ごしました。

同窓会からの卒業寄付について

次の通り大学へ寄付させていただきました。



平成19年度卒業 生からの寄付
野球場カウント 表示器・スコアボード一式
平成20年度卒業 生からの寄付
スウェーデン製 国際フロアボール連盟公認 フロアボール競技用フェンス
平成21年度卒業 生からの寄付
ステレオパワアンプ・スピーカーシステム一式

結婚披露宴会場へお祝いのメッセージをお贈りします

人生最良の日といわれる結婚式。皆様の晴れの日、母校の理事長・学長からお祝いのメッセージ（祝電）をお贈りします。新郎新婦のうち、いずれかが本学の卒業生の方でしたら、是非、ご連絡ください。

お申し込み方法

駿河台大学または駿河台大学同窓会のホームページに「お申し込みフォーム」が掲載されておりますので、必要事項を入力し、送信してください。
* 挙式日の10日前までにお申し込みください。
* お申し込み内容を確認次第、折り返しEメールにて確認のご連絡をいたします。連絡がない場合は、お手数でも総合企画課（0422-972-1141）までお問い合わせください。

* 祝電の手配は日本国内に限らせていただきます。海外にて挙式をされる方は、事前にご自宅にお送りいたしますので、備考欄にその旨を明記してください。

駿河台大学オリジナルキャンパスグッズに 新商品が加わりました。

（同窓会ホームページでも紹介しています）



オリジナルキャンパスグッズコーナー

新商品 オリジナルネクタイ 各 ¥3,990 (税込)

本学独自のロゴマークが入った、駿河台大学オリジナルキャンパスグッズに新商品が加わりました（ネクタイ、ハンドタオル、ドラ焼き）。その他にも学内ショッピングセンター内のオリジナルキャンパスグッズコーナーにおいて多数のグッズを取り揃えていますので大学へお越しになった際は、ぜひお立ち寄りください。



新商品 オリジナルハンドタオル (左) 各 ¥420(税込)

オリジナルドラ焼き (右下) (売れ筋No2) 1箱10個入 ¥500(税込)



オリジナルシャープペン (右) (売れ筋No1) 各 ¥105(税込)

オリジナルボールペン (左) (売れ筋No3) 各 ¥105(税込)

商品についてのお問い合わせ
駿河台大学ショッピングセンター
TEL 042-972-1152
FAX 042-972-1148
E-mail surugadai@akku-sc@k4idom.ne.jp

お申込方法

同窓会ホームページ (<http://www.surugadai.ac.jp/dousou/index.html>) に申込書のフォームがありますので、プリントアウトし、ご記入の上、商品代金・郵送料を添えて事務局宛てに郵送ください。

※電話・インターネットでの申込は受け付けておりませんのでご了承ください。

また、商品の発送は、事務局に申込書・代金が到着後1週間程度かかります。

ご不明な点がございましたら、同窓会事務局までお問い合わせください。

読者プレゼント

同窓会報(第19号)をご覧いただいた方(5名様)に、駿河台大学オリジナルハンドタオルをプレゼントいたします。

応募方法 ご希望の方は、左記の内容及び読者プレゼント希望の旨を記入の上、E-mail、FAX・官製はがきでご応募ください!! 応募者多数の場合は抽選となります。当選者の発表は、プレゼントの発送をもって発表に代えさせていただきます(12月上旬発送予定)。

① 学籍番号・氏名

② 郵便番号・住所・電話番号

③ 同窓会報をご覧になった感想

④ 同窓会への意見(ご要望など)

応募締切

応募先

11月19日(金)消印有効

★はがき

〒300-8600

埼玉県飯能市阿須の600

駿河台大学同窓会事務局(学生課内)

★FAX 042-972-1140

★E-mail dousou@surugadai.ac.jp

たぐやこの応募をお待ちしております!!!